



富士市の 自動運転の取組について

令和7年12月5日

富士市都市整備部都市計画課

ふじMaaSとは

ふじMaaS

ICTやAI等のデジタル技術や交通資源、地域資源等を有効活用し、移動の観点から富土地域の課題解決に資する取組

新たなモビリティサービス

- ・AIオンデマンド交通の導入
- ・自動運転レベル4の社会実装 等

新しい収益源の確保

- ・観光MaaS
- ・異業種連携 等

＜移動データの共有・連携＞

交通事業者の業務生産性向上

- ・運行・管理業務の効率化
- ・運行・管理業務のDX 等

利用者の立場からの利用環境改善

- ・MaaSアプリ
- ・デジタルチケット
- ・UI（ユーザーインターフェース）・UX（ユーザーエクスペリエンス）の改善 等

etc.



持続可能な公共交通ネットワークの構築

これまでの自動運転の主な取組

R6 (2024)



R7 (2025)



R9 (2027)
の社会実装を
目指す

R5 (2023)



✓ デモンストレーション走行

- 閉鎖空間（公園内）で自動運転のデモンストレーション走行実施
- R5.9.23（土）
- 市中央公園イベント広場内

✓ 公道実証運行

静岡県と連携し実証運行を実施

- R7.1.15（水）～21（火）
- 富士見台地区、新富士駅・富士駅間

✓ 新富士駅・富士駅間基礎調査

新富士駅・富士駅間における現況把握や導入候補車両の選定などを実施



✓ 新富士駅・富士駅間公道実証運行

政府目標である2027年度に全国100か所以上での自動運転移動サービスの実現を見据え、深刻な運転士不足への対応や新富士駅・富士駅間の連携強化などを目的として、両駅間の公道において自動運転バスの実証運行を実施

- R7.11.22（金）～12.12（土）
- 新富士駅・富士駅間

✓ 社会実装に向けた推進体制等調査・検討

自動運転の社会実装に向けた推進体制や実施体制について調査・検討とともに、社会受容性の向上方策の検討等を実施

- 事業実施及び協力体制の検討
- 社会受容性向上方策の検討 など

R5 デモンストレーション走行

「バスの日イベント」の中で、自動運転に対する社会受容性の醸成を図ることを目的として自動運転車両のデモンストレーション走行を実施

1 日 時 令和5年9月23日（土祝）10:00～15:00

2 場 所 富士市中央公園イベント広場

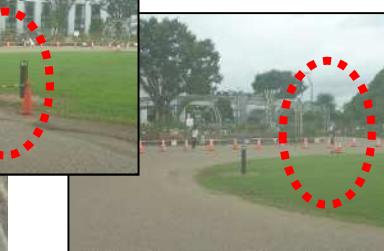
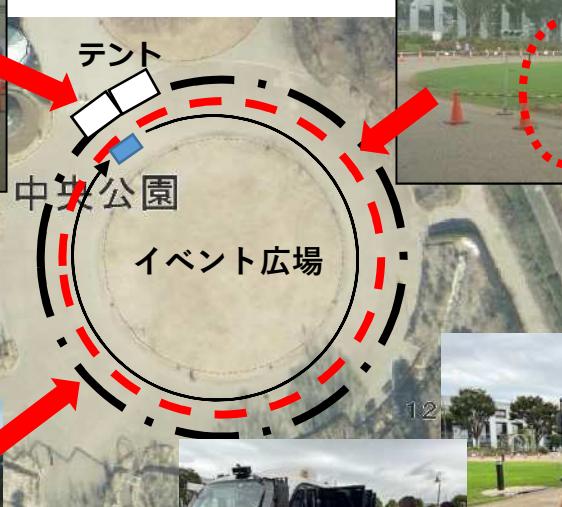
3 その他の
 • 乗車人数150人
 • 東急(株)、静岡県未来まちづくり室の協力を得て実施



▼テント付近の様子



(信号機、ダミー人形)
富士警察署から借用した障害物▼



障害物▶
(軽自動車)

R5 デモンストレーション走行



試乗アンケートから

- ・公道でも実施してほしい。
- ・早く富士市でも導入してほしい。
- ・安全性の確認ができた。
- ・貴重な経験ができた。
- ・子供にとってよい経験となった。
- ・新しい技術を体験でき、有意義だった。
- ・オペレーターの方と話が出来て楽しかった。
- ・実用化に向けて、技術の進化を実感できて良かった。
- ・実用化までは道のりは長そうだが、労働力不足など様々な社会問題を解決する可能性を感じることができた。
- ・搭載のカメラやセンサーの死角に幼い子どもやしゃがんだ人間がいた場合もどういう回避をするのかと想定したとき、安全確認されるまで停止しているならば自動運転による時短は考えにくいと思った。
- ・運転サポートとして様々な技術が導入されているが、まだ人の目に勝る安全確認には至っていないのかなと思った。



R6 自動運転バス公道実証運行

- ・実施期間 令和7年1月15日（水）から21日（火）まで ※7日間
 - ・運行ルート・ダイヤ等

【富士見台ルート】（富士市事業）



【新富士駅～富士駅ルート】（静岡県事業）



- ・乗車人数（延べ人数）
【富士見台ルート】 354人（小学生）
【新富士駅～富士駅ルート】 369人
 - ・運行車両 8人乗りグリーンスローモビリティ

(乗客定員6人、最高速度19km/h、

【新富士駅～富士駅ルート】 369人

- ・ **自動運転** タジマモーター社製NAO8J)
- ・ **事業協力** レベル2(ドライバーが乗車し安全を確認・判断)
東急株式会社(事業受託者)、
富士急静岡バス株式会社(ドライバー派遣)



R6 自動運転バス公道実証運行



R6 自動運転バス公道実証運行



試乗アンケートから

- ・ぜひ実用化して欲しい。
- ・思ったより安心感がありました。
- ・ルートを拡大して欲しい。
- ・実験が失敗ではないのであれば早期運行して欲しい。
- ・自動車を運転しなくなった時にこのような自動運転バスがありますととても生活しやすくなるように思いました。
- ・車がない方や、バスが通らない場所などに自動運転バスがあれば、買い物や病院などに行きやすくなると思います。
- ・運転技術が高く驚いた。LINEで予約、乗車が楽で良かった。実用化されて事故がない世の中になって欲しいと思う。
- ・子どもが楽しそうに試乗できたのが良かった。富士見台は交通量も少ないので良いが駅周辺や市街で低速で走っていると他のドライバーは困ることも多いのではないかと感じた。今日は、交通量が少なく遊園地のアトラクションのようであったが、自転車や歩行者の急な飛び出しにどの程度対応できるのか関心があります。



令和6年度 富士市自動運転 公道実証運行
記念乗車券
富士見台ルート
2025.01.15 ~ 2025.01.21

令和6年度 富士市自動運転 公道実証運行に
ご乗車いただき、ありがとうございました。
乗車後アンケートにご協力をお願いします。

▼乗車後アンケート



富士市都市計画課 0545-55-2904

R6 新富士駅・富士駅間基礎調査



基礎調査の概要

1 地域の現況・課題の把握及び移動需要の分析

- ✓ 道路交通状況や周辺状況等の把握
- ✓ 地域課題の分析
- ✓ 将来の移動需要の分析

2 導入候補車両の選定等

- ✓ 導入候補車両の選定・ルート候補の設定
- ✓ 自動運転導入に向けた課題の整理
- ✓ 導入ルート候補の評価



3 自動運転の導入が地域に与える効果の検証

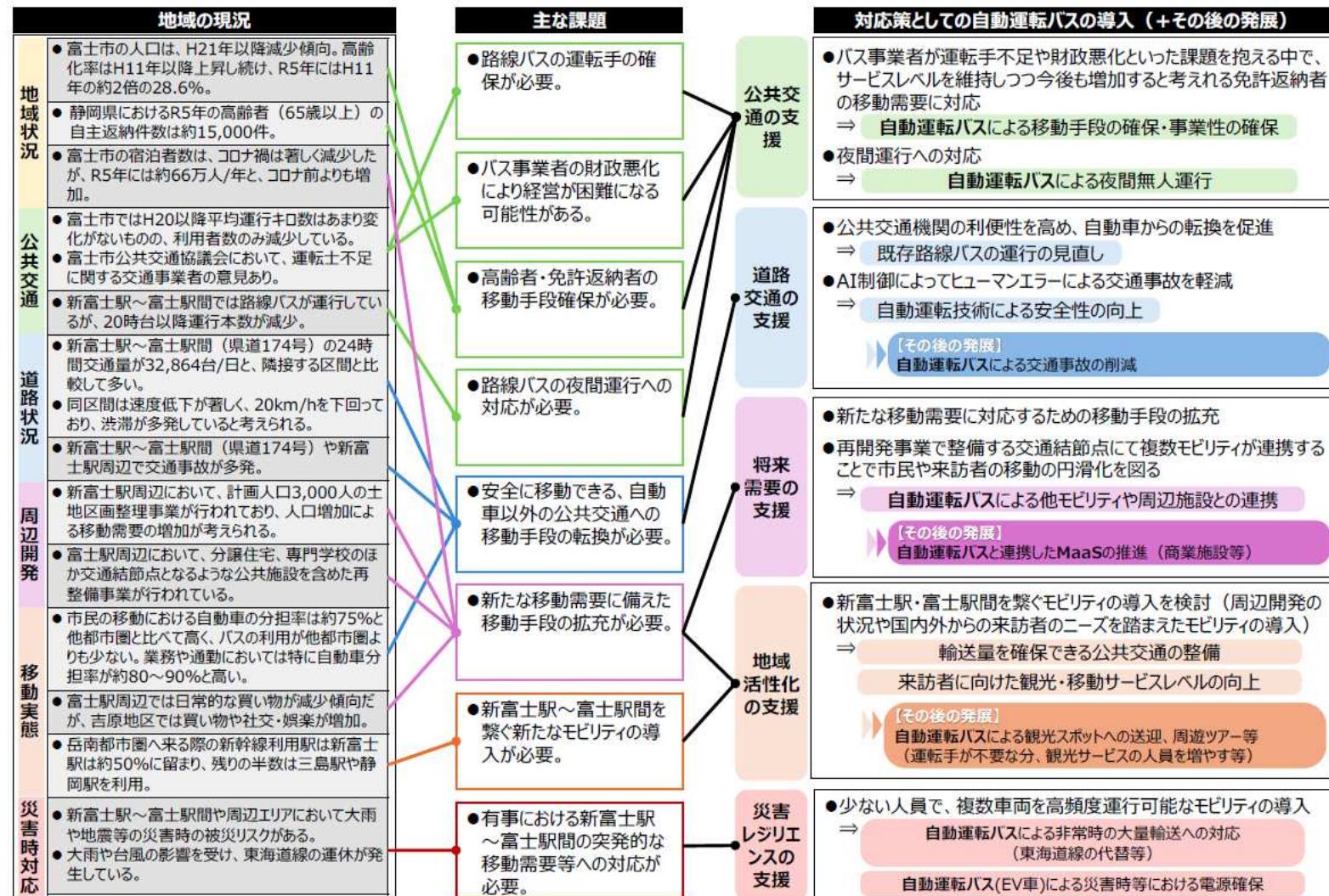
- ✓ ロジックモデルによる自動運転導入効果シナリオの検討
- ✓ アンケート・ヒアリングによる自動運転の導入効果の検証
- ✓ 経済分析による地域への波及効果の検証
- ✓ 自動運転導入による地域の将来像の検討



※ロジックモデルのイメージ

R6 新富士駅・富士駅間基礎調査

1 地域の現況・課題の把握及び移動需要の分析



▲地域の現況・課題を踏まえた自動運転バス導入効果

R6 新富士駅・富士駅間基礎調査



2 導入候補車両の選定等

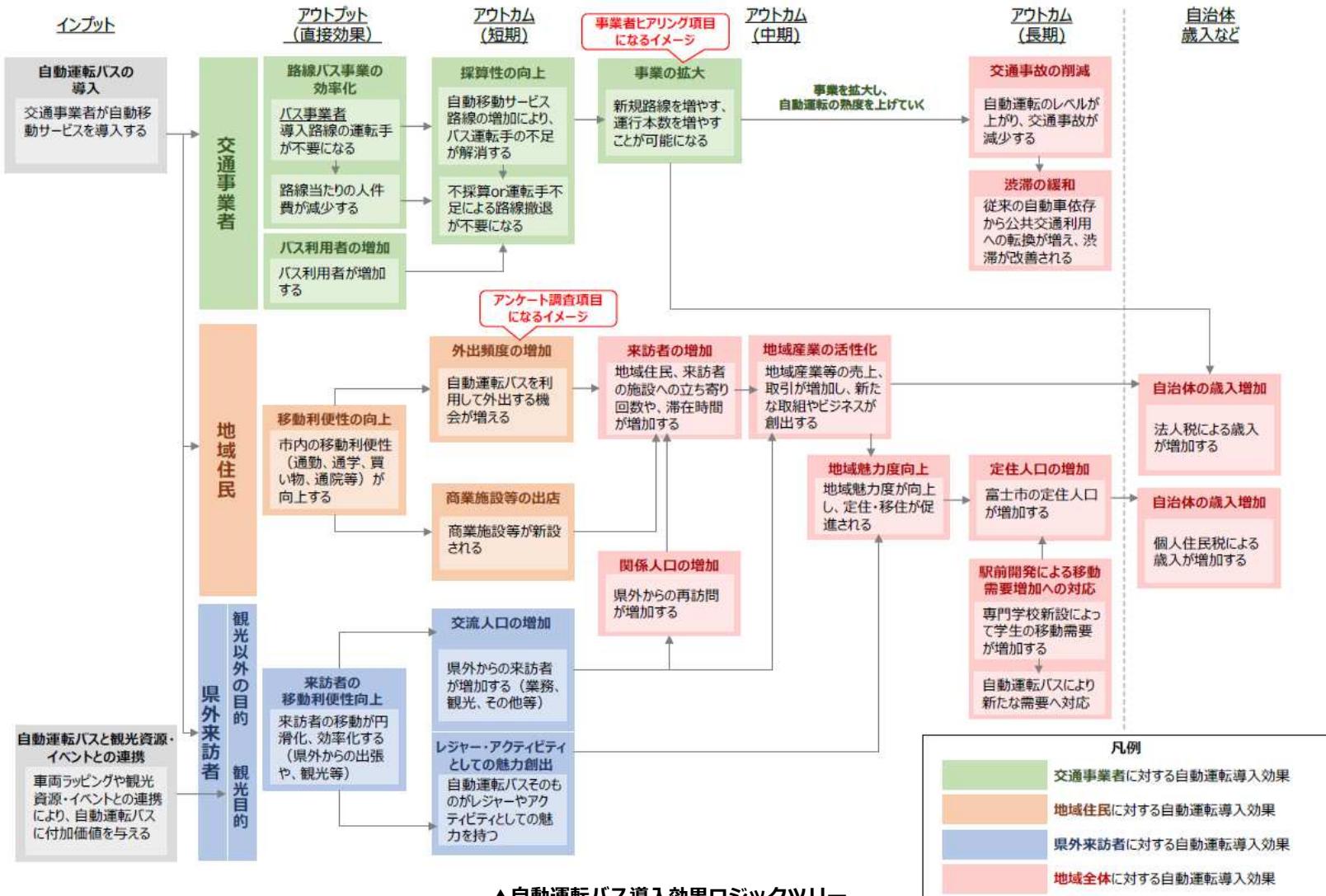
項目	1	2	3	4	5
車両タイプ	小型バスタイプ	小型バスタイプ	小型バスタイプ	中型バスタイプ	中型バスタイプ
自動運転システム提供	埼玉工業大学	先進モビリティ(株)	(株)ティアフォー	先進モビリティ(株)	埼玉工業大学
ベース車両	日野 リエッセII	日野 ボンチョ	BYD J6 2.0	いすゞ エルガミオ	日野 レインボーII
外観					
自動運転の種類	自律型	自律型/磁気マーカー	自律型	自律型	自律型
乗車人員 (座席(補助席含む) +立席+運転席)	25人 (24+0+1)	36人 (11+24+1) (実証時は 11人)	25人 (15+9+1) (実証時は 16人)	61人 (24+36+1) (実証時は 28人)	61人 (24+36+1) (実証時は 18人)
大きさ	全長	625.5cm	699cm	719cm	899cm
	全幅	208cm	208cm	232cm	230cm
	全高	263cm	310cm	305cm	304.5cm
最高速度	40km/h (実証時)	36km/h (実証時)	35km/h	40km/h (実証時)	50km/h (実証時)
燃料/電源	軽油	軽油	EV	軽油	軽油

▲自動運転バス導入候補車両

R6 新富士駅・富士駅間基礎調査



3 自動運転の導入が地域に与える効果の検証



R6 自動運転の取組まとめ

R6 新富士駅・富士駅間基礎調査

- ▶ 地域課題に対応すべく自動運転バスの必要性を確認
- ▶ 自動運転バスの導入による両駅間の移動需要は**最大949人/日**
- ▶ 上記によるピーク時の移動需要は**14.8人/便**

R6 自動運転バス公道実証運行

- ▶ 新富士駅・富士駅間は**一定程度以上の速度が望ましい。**
 - ▶ 運行ルートは**車道と歩道が明確に分離されていることが望ましい。**
 - ▶ 試乗者アンケートによれば
 - ・**早期運行して欲しい。**
 - ・早く実用化されて事故がない世の中になって欲しい。
- など早期の導入に期待する声



R 7
実施事業

これらを踏まえて…

- ・社会実装に向けた推進体制等調査・検討
- ・新富士駅・富士駅間の公道実証運行

R7 社会実装に向けた推進体制等調査・検討

R9（2027）年度における自動運転の社会実装に向けた推進体制や実施体制について調査・検討するとともに、社会受容性の向上方策の検討等を行う。

✓ 実施項目の整理及び設定

- ・路車協調システムなど安全性を確保するための措置（安全面）
- ・自動運転の実現と円滑な運行に向けた検討（運行サービス面）
- ・安全性の確保や円滑な運行を実現するための自動運転技術等の確保（技術面）

順位	1	2	3	4	5
実施段階	実験・検証段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階
実施主体	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階
実施場所	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階
実施期間	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階
実施費用	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階
実施効果	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階	実証・実験段階

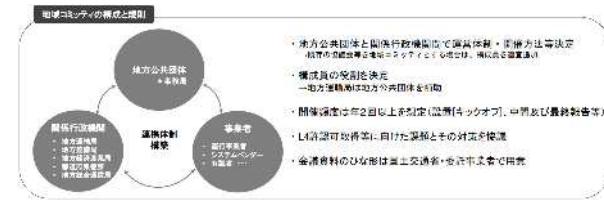
▲自動運転車両例



路車協調システムイメージ▲

✓ 事業の実施・協力体制の検討

- ・遠隔監視等の自動運転バスの運行を実現するための体制（体制面）
- ・経済的かつ効率的な運営（経済面）



▲連携体制イメージ（レベル4モビリティ地域コミッティ）

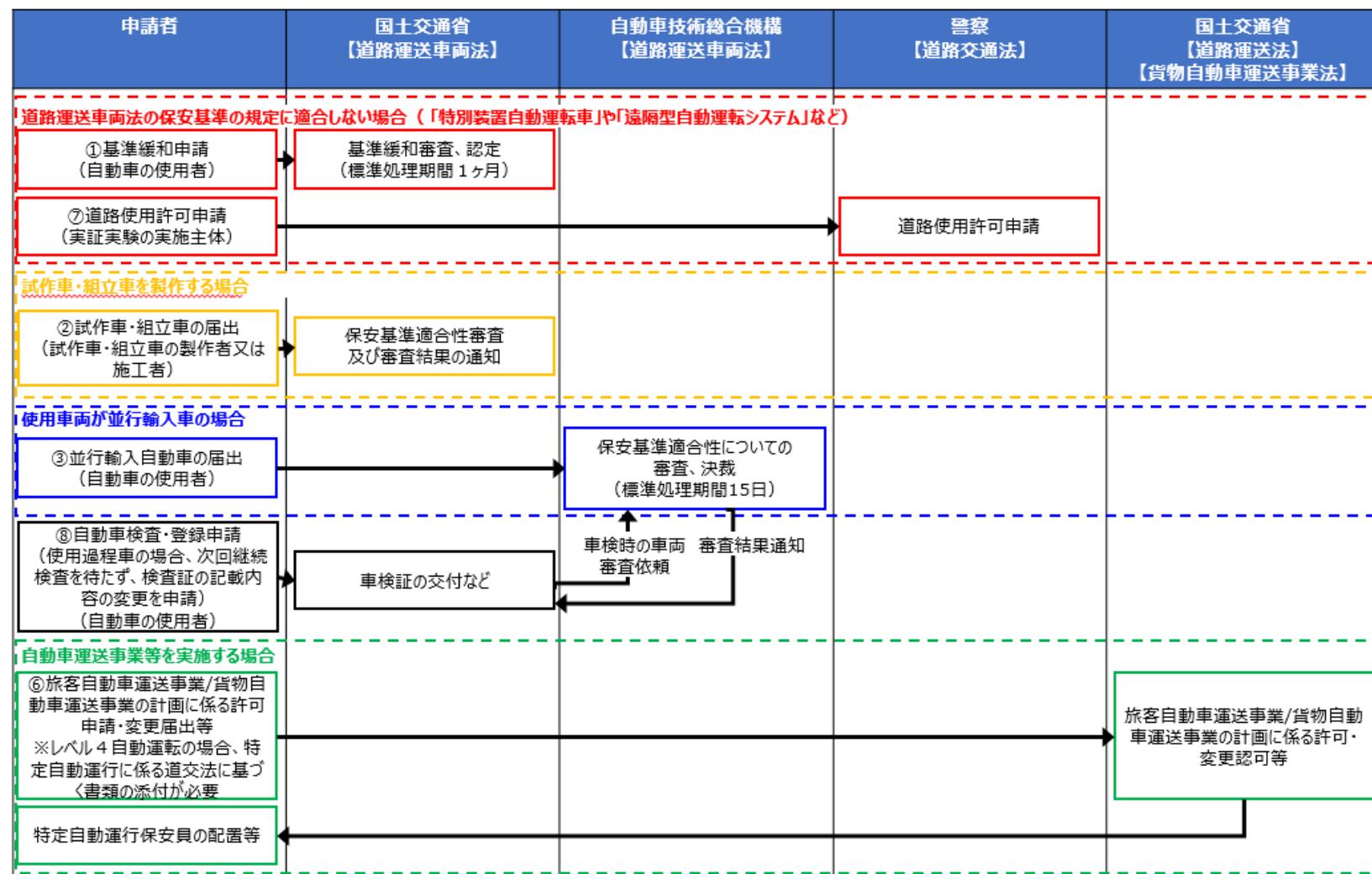


小学生向け自動運転バス体験乗車の様子▲

✓ 社会受容性の向上方策の検討 など

R7 社会実装に向けた推進体制等調査・検討

自動運転レベル4社会実装に向けたロードマップ



R7 新富士駅・富士駅間公道実証運行

これまで、本市では30年以前から新富士駅・富士駅の連携強化、アクセス向上に向けた取組を進めてきた。

年度	主な取組
平成元年度	身延線延伸検討（富士市総合都市交通施設整備計画調査） 検討の視点を拡大
平成15年度	公共交通網検討調査（1年目）
平成16年度	公共交通網検討調査（2年目） 「富士市DMV導入基本計画」策定
平成19年度	新富士駅～富士駅間ににおいてワンコインタクシーの実験運行（H26.7～9）
平成26年度	新富士駅～富士駅間ににおいてワンコインタクシーの実験運行（H27.6～12）
平成29年度	まちなか循環バス「ぐるっとふじ」の運行開始（H29.11.6）
令和2年度	自動運転バスの導入検討 「富士市地域公共交通計画」策定 「自動運転による交通サービス」の導入・検討について明記
令和5年度	自動運転デモンストレーション走行実施（R5.9.23、市内中央公園）
令和6年度	新富士駅～富士駅自動運転基礎調査 自動運転公道実証運行（R7.1.15～21、市内富士見台地区） ※同期間に、県が新富士駅～富士駅で実証運行を実施
令和7年度	自動運転バスの社会実装に向けた推進体制等の調査・検討 新富士駅～富士駅自動運転実証運行（R7.11.22～12.12）

R7 新富士駅・富士駅間公道実証運行

政府目標の2027年度に全国100か所以上での自動運転移動サービスの実現を見据え、富士市において将来にわたって地域公共交通の維持・確保を図ることを目的として、新富士駅・富士駅のアクセス向上、連携強化を念頭に、両駅間において自動運転バスの実証運行を実施

実証運行内容

✓ 実施期間

R7.11.22（土）～12.12（金）

※日曜を除く、18日間

✓ 運行ルート・ダイヤ等

新富士駅富士山口 ⇄ 富士駅北口
6便／日（10～15時台）

✓ 運行車両

15人乗り小型EVバス
ティアフォー社製 Minibus2.0
最高時速35キロメートル
実証運行時の乗車定員13人

✓ 自動運転レベル2

✓ 事業協力

A-Drive株式会社

富士急静岡バス株式会社



R7 新富士駅・富士駅間公道実証運行

【出発式】



細野代議士祝辞



テープカット



来賓試乗会



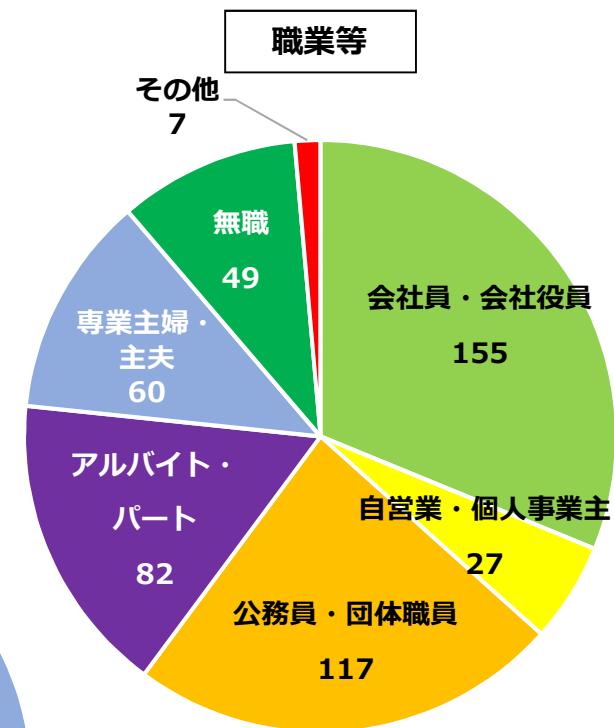
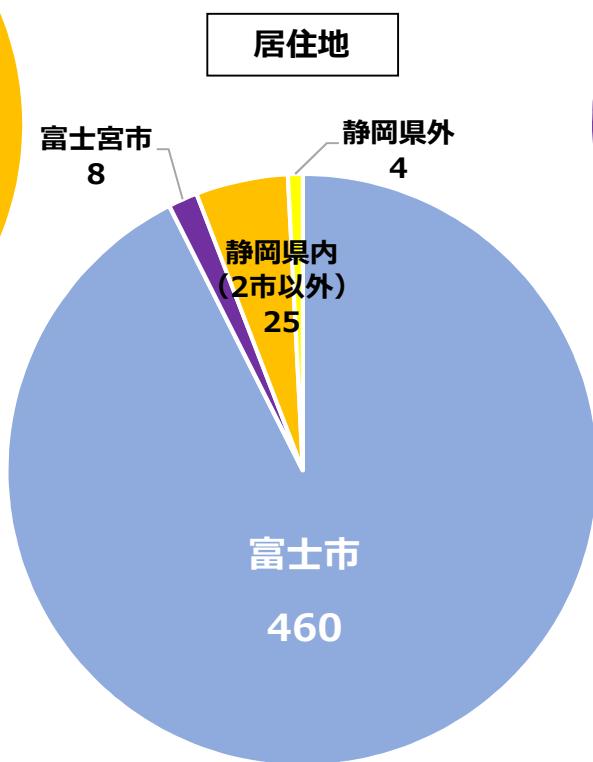
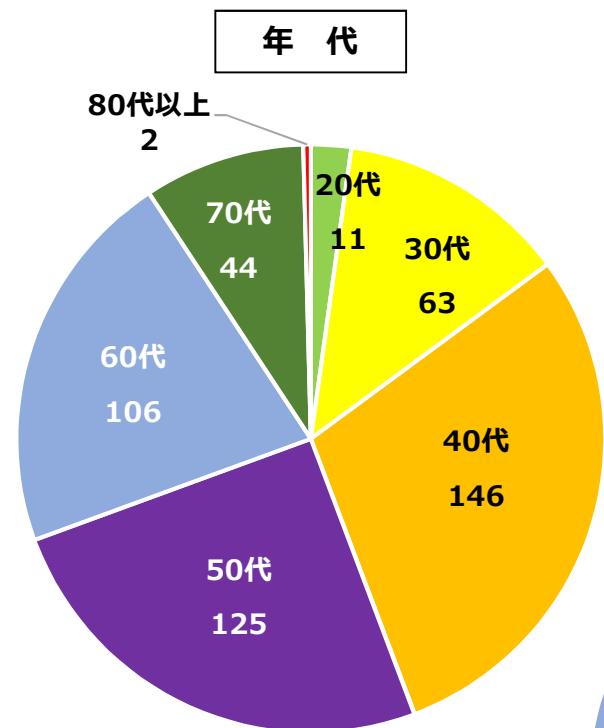
R7 新富士駅・富士駅間公道実証運行

【実証運行】



R7 新富士駅・富士駅間公道実証運行

乗車人数：497人（11/28時点）



R7 新富士駅・富士駅間公道実証運行



乗車後アンケートから（11/28時点）

- ・一刻も早い実用化を期待します。
- ・とても静かで安心して乗車ができました。
- ・思ったよりもスムーズに運転していて快適でした。
- ・自動運転バスの運行には周囲の理解が不可欠だと思います。
- ・バス自体が安全運転しても周囲の車が危ない運転をした場合にどう対処するかが鍵になりそう。全てが自動運転になれば安全になるのかもしれない。
- ・新たな取組で問題点も多くあると思いますが社会実装に期待しています。
- ・自動運転専用レーンの整備が進めば更にスムーズなのかな？
- ・何かあったときに乗務員がないことは不安だと思う。
- ・実際に自動運転が始まったときの料金の支払いはどうするのか気になった。
- ・今回の走行路線は速度的にも乗り心地的にもストレスなく乗れましたので、富士駅と新富士駅を繋ぐ交通手段としては有益であると思いました。
- ・歩行者や自転車の予測不能な動きに全て対応できるのか不安です。警報級の大雨や台風などの際もセンサーは正常に感知するのか気になりました。
- ・安全を十分考慮してなるべく早く実用できるよう頑張ってください。
- ・新富士・富士駅間の移動手段は本当に悩んでいるところなので早く実現してほしいです。



今後の取組方針（案）

※取組内容はR7ロードマップにより示す予定

2026

2027

2028
以降

社会
実装

- 新富士駅・富士駅間
運行形態：L 4本格運行
ルート：現道活用ルート
車両：小型EVバス
事業主体：富士市
運行：交通事業者
高度化：自動運転レベル4、
完全キャッシュレスなど

実証
運行

- 新富士駅・富士駅間
運行形態：L 2実証運行
ルート：現道活用ルート
車両：小型EVバス
事業主体：富士市
高度化：信号連携、顔認証など

将来
展開

- まちなか及び観光拠点へ運行ルートの拡大
運行形態：L 4本格運行
ルート：現道活用及び専用空間ルート
車両：ルートに応じた規模のEVバス
事業主体：交通事業者
高度化：モビリティハブ整備、沿道活用など





**持続可能な公共交通ネットワーク
の構築を目指します！**

富士市 都市整備部 都市計画課

公共交通推進担当

(ふじM a a S推進協議会 事務局)

TEL : 0545-55-2904

E-mail : toshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp